

# みやぎ中学生 いじめ問題を考えるフォーラム

開催しました！

宮城県教育庁義務教育課

大きな社会問題となっているいじめ問題について、中学生が学校を超えて話し合い、生徒一人一人が「いじめは人間として絶対に許されない」ことを認識し、望ましい人間関係づくりに取り組み、協力してよりよい学校生活を築けるよう促すために、平成24年度「みやぎ中学生いじめ問題を考えるフォーラム」を開催しました。

- 日時 平成25年2月22日（金）13:00～15:45
- 場所 県庁2階講堂
- 参加者 県内公立中学校生徒117名（仙台市を除く）  
教員72名，一般参観者14名
- 講師 ファシリテーター：ALL東北教育フェスタ実行委員会（県内大学生27名）
- 内容（概要）

## (1) 開会行事



村井県知事からいただいたビデオメッセージを上映しました。

## (2) ワークショップ1

「いじめとは？」というテーマでダイアログ



グルーピング後、それぞれ自己紹介をしました。



いじめで連想する言葉を付箋紙に書き、つなげました。

## (3) いじめ疑似体験

クイズの答えを相談する役，話しかけるが無視される役，傍観者の役に分かれてのいじめの疑似体験

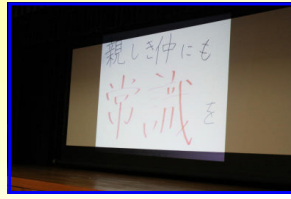
## (4) ワークショップ2

(3)をもとに「いじめをなくすには，どんなことをしたらよいか」というテーマでダイアログ

## (5) スローガン作成・共有



活動の終わりにグループごとにスローガンを作成しました。



スローガンをスクリーンに映し，全体で共有しました。

## 【教員対象講演会】

生徒のワークショップ中に，引率教員を対象にして，仙台弁護士会の土井浩之氏から「人権から考えるいじめ問題」という演題で御講演いただきました。

教員58名参加



## (6) 閉会行事

「わたしのいもうと」（松谷みよ子・文，味戸ケイコ・絵）の朗読（義務教育課長）

## ○スローガンの作成について

グループごとにいじめ撲滅に向けたスローガンを作成し、次の6つを参加中学生で選びました。各学校・地域で、スローガンを活用し、いじめ撲滅に向けた取組をしていくことを確認しました。

- ・ みんなが変わればいじめはなくなる。
- ・ 勇気+声 × 協力<sup>かける</sup>=いじめ防止 ～笑顔の花をさかせよう～
- ・ 親しき仲にも常識を ～かけよう理性のストッパー～
- ・ 思いやりをもっていじめのない環境を作ろう！
- ・ みんなで持とう、もたせあおう、気持ちの強さ！
- ・ 1人じゃないよ！勇気・あいさつ・思いやり、その行動が、誰かを救う！

### 【その他の作品】

- ・ Say No!
- ・ 1人1人が異変に気づき、勇気を持って行動すれば、いじめは消える！
- ・ 一人一人が思いやりの心を持って、大きくなる前に早い段階で問題の原因をつぶす！
- ・ やめようよ 心に響け その言葉
- ・ 自分が変われば周りも変わる。
- ・ あなたは助けてくれないの？ ～被害者と加害者をつなげるのはあなたです～
- ・ 想うだけじゃなく行動してこそ
- ・ あなたが1番近くにいる。それが心の支えになる。
- ・ いじめは、人の命を奪う犯罪だ。見ているだけでも犯罪だ。
- ・ KEEP YOUR SMILE ～見つける・伝える・信じ合う～
- ・ コミュニケーション+小さなことから=いじめなくなる
- ・ 相手の気持ちに気づき、周りが変わる。
- ・ どんな時でも一人じゃないよ ～心で勝て！次に技で勝て！～
- ・ イジメなんていらぬね。 ～輝く未来に闇なんて必要ない！～
- ・ 勇気と行動 ～1人にしない心づかい～
- ・ 1人1人が楽しめる環境を皆でつくろう。
- ・ 自らの想いを声に出し共感しあえる仲間をつくろう

## ○ 県内中学校関係の皆様へ

各中学校、市町村教育委員会に、開会行事で披露した村井県知事からのビデオメッセージをDVDにして配布しました。各学校・地域で御活用ください。

また、今回作成したスローガンは、ワークショップでの話し合いをもとに、中学生が作成したものです。各学校・地域の実態に応じて御活用いただきますようお願いいたします。

## 【参考】事後アンケート結果（抜粋）

### 生徒対象ワークショップを参観しての感想

#### ○ 教員

- ・ 生徒なりに考え、他校と関わっていく中で新たな視点、考え方、表現方法を身につけていたと思う。どの学校でもここから各学校にマッチしたいじめへの意識改善への一歩になることを期待する。
- ・ 多種多様な意見交換がなされていた。どれもが大切なことであり、だからスローガンを1つに絞る活動で困っていたようだが、生徒一人一人が真剣にそして積極的に発言していたことが印象的だった。
- ・ ファシリテーターの存在が大きかったと思う。生徒のみでは、ここまで深く考えることはできなかったと感じた。
- ・ 大人の目線とこどもの目線とでは、どうしても違いができてしまう。しかも、先生が中に入ってしまうと本音を出しづらと思う。年の近い学生が入ることで、よい話し合いの活動ができていたので、このような活動は良かったと思う。
- ・ 生徒が議論によって理解が深まっているように見えて、連れてきて良かった。
- ・ 県内に住む中学生が意見交換をしながら、同じ想いでスローガンを作り上げていくことは、大変意味があり、効果的であると感じた。
- ・ 生徒たちにより体験をさせていただき、ありがとうございました。学校に持ち帰り、話し合いをさせ、全校に広めていきたいと思えます。
- ・ 生徒一人一人が生き生きと意見を言える雰囲気良かった。みんなが前向きに考え、スローガンを作り上げている。ぜひ、今回子どもたちが作ったスローガンを学校だけでなく、地域全体にひろめていくよう働きかけていきたいと思った。
- ・ 初対面の生徒同士で話し合わせることは、様々な意味でよかったと思えます。もう少し生徒の様子を見たかったです。
- ・ 全体像が見えないものの生徒の発表、表情がよかったので、充実した活動だったのだと思えます。
- ・ 短い時間で自分の意見、そして他の意見を取り入れ高め合っている姿に感心した。これはぜひ学校でもやってみたいと思った。ぜひこの進め方について知りたいので、資料等あれば頂きたい。
- ・ 中学生が他校中学生と真剣に話し合うのはとても有意義なことだと思えます。学校全体に広げ、町に広げ、県に広げ、いじめがなくなればと思えます。大学生に感謝です。

## ○一般参観者から

- ・ 中学生達が「いじめ」という難しいテーマで話し合う姿がとても素晴らしい光景でした。自分達の体験談をもとに話したり、どうすればいじめをなくせるかを議論するのを見て、とても刺激的な体験が出来ました。ファシリターの学生にとっても良い経験だったと思います。最後に「懇談会」のようなフリーな時間があったら面白いかなと思いました。
- ・ 1人1人真剣に話し合い、意見を出している姿が「いじめ」をなくそうとする気持ちの表れだと思いました。相手の良いところを見つけよう！という意見が大変多かったのと、境界線（いじめかふざげか）がわからないという意見が多かったのが印象的でした。ファシリテーターの学生が上手に意見を引き出していたのがすばらしかったです。単年だけでは終わらせないでいただきたいと思います。貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。
- ・ 中学生の感性にふれ、とても楽しい時間でした。積極的な子、おとなしい子、それぞれが自分の個性を発揮していたと思います。ファシリテーターも様々でおもしろかったです。来年も開催してください。
- ・ 生徒はいじめの本質、いじめの有無を把握していても、あの先生たちでは解決してくれないという発言していた生徒がいました。教職員はこの実質を深く受けとめてください。また、スクールカウンセラーは機能していないとも言っていました。各校の優等生をそろえすぎた。色々なカラーがあったら・・・？
- ・ 各グループ共に真剣に話し合い、取り組んでいる様子は素晴らしく、学校環境を良くしようとする気持ちがすごい。ファシリテーターの方々の導き方もとても良かった。さすが学校代表です。意見等が数多く出ていた。参加された中学生の真剣に取り組む姿勢はとても明るくて良かった。
- ・ 問題に対し、しっかりと考え、自分の言葉で思いを伝える姿がよかった。いじめの問題点をよくとらえていて、たくましさを感じた。スローガンや話し合いを良くまとめているとすばらしいと思う。ファシリテーターの力に感謝。
- ・ いじめとは何ですかと問われたら、私は悔しさと答える。これ程、悔しく理不尽なものはない。中学生たちが一生懸命いじめ問題について話し合ってくれて「有難う」と感じた。各学校へ戻って、このフォーラム体験が心要な時に「あっ、あの時・・・こう言っていた人がいた」「あの時、いじめはいけない事と、心から感じた」等々柔らかな心の中に新しいきれいな水が注がれていったと信じ、今後の光につなげたい。柔らかな心の生徒たちより、問題は大人側かもしれない。大人向けのフォーラムはいつ開催されるのでしょうか。

## 講演会(教員)について

- ・ 教育活動の事例だけにとどまらず、社会一般的ないじめ構造まで話されたことが良かった。
- ・ 自殺に向かうメカニズムの3つのポイントについて学ぶことができた。生徒や教室が安心できる場所が学校であれば最高だと思うし、そういう学校を作りたいと思った。
- ・ いじめや体罰、パワーハラスメントを今までと違った角度から考えることができた。現在よくある「～してはいけません」といういじめの定義のようなものを、「～しましょう、～してみよう」のような文言にすることにより、よりよい集団を築けるのではないかと考えました。
- ・ とても共感できる自分自身の心のありようにもつなげられる内容でした。もちかえって話題にしたいと思います。
- ・ 支援サイドだけではなく、弁護士目線からの講話も良かった。
- ・ 「人権」とは何か、ということがより深く理解することができました。学校や学級での「人権」、生徒を尊重してゆくことの大切さを感じそのことが、いじめ防止につながることを改めて確認することができました。まさに、いじめ防止とは人権の尊重こそが有効であることがわかりました。
- ・ いじめの本質や、メカニズムをわかりやすくお話いただき、とても参考になった。中でも自殺に向かう三つの要素については、その予防という観点から今後につながる内容であると感じた。
- ・ 人権といじめの話はとても分かりやすく、今後生徒に話し聞かせる1つの引き出しがまたできました。
- ・ 人権についての理解が深まった気がします。とても参考になる講演でした。もう少し情報交換の時間があっても良かったです。
- ・ いじめをなくすことを考えるのではなく安心できる学校を作るという視点で今後活動していきたいと思いました。とても多くのことを学ぶことができました。
- ・ 異業種ながら、現場の実践に活かせる内容でした。非常に勉強になりました。
- ・ 根本的に大人も子どもも本質は一緒で、認められること安心感が大切であると改めて感じた。いじめをなくすためには、その環境を積極的生徒指導の大切さを感じた。
- ・ 予防ではなく、集団の中で尊重されていると感じられるような学級づくりの大切さをとても感じる講演であった。
- ・ 自殺してしまう要因について説明があったが、いじめがおこる要因、原因について知りたかった。

★ 多数の御意見・御感想をいただき、大変ありがとうございました。

★ 本フォーラムは、初めての開催ではありましたが、多くの皆様の御協力により無事終了することができました。ありがとうございました。

今後も積極的にいじめ問題に向けた取組を推進していく予定です。